

ハトムギによる産地形成とJA主導の農商工連携

--- 地域ネットワークがJAの売り込む力の源泉となる ---



平成22年3月19日(金)

氷見市農業協同組合

代表理事組合長 川上 修

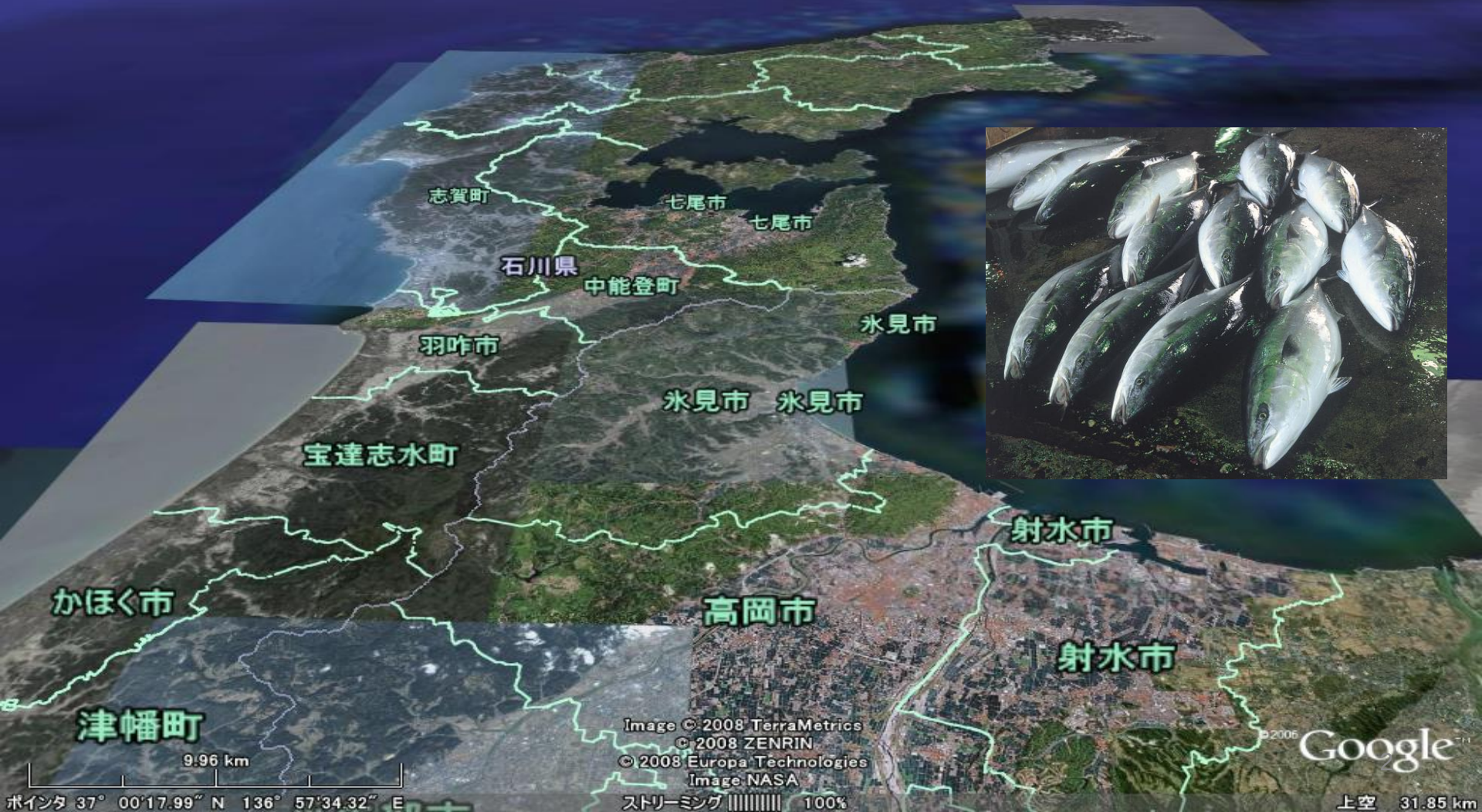


氷見市は能登半島付け根の東側

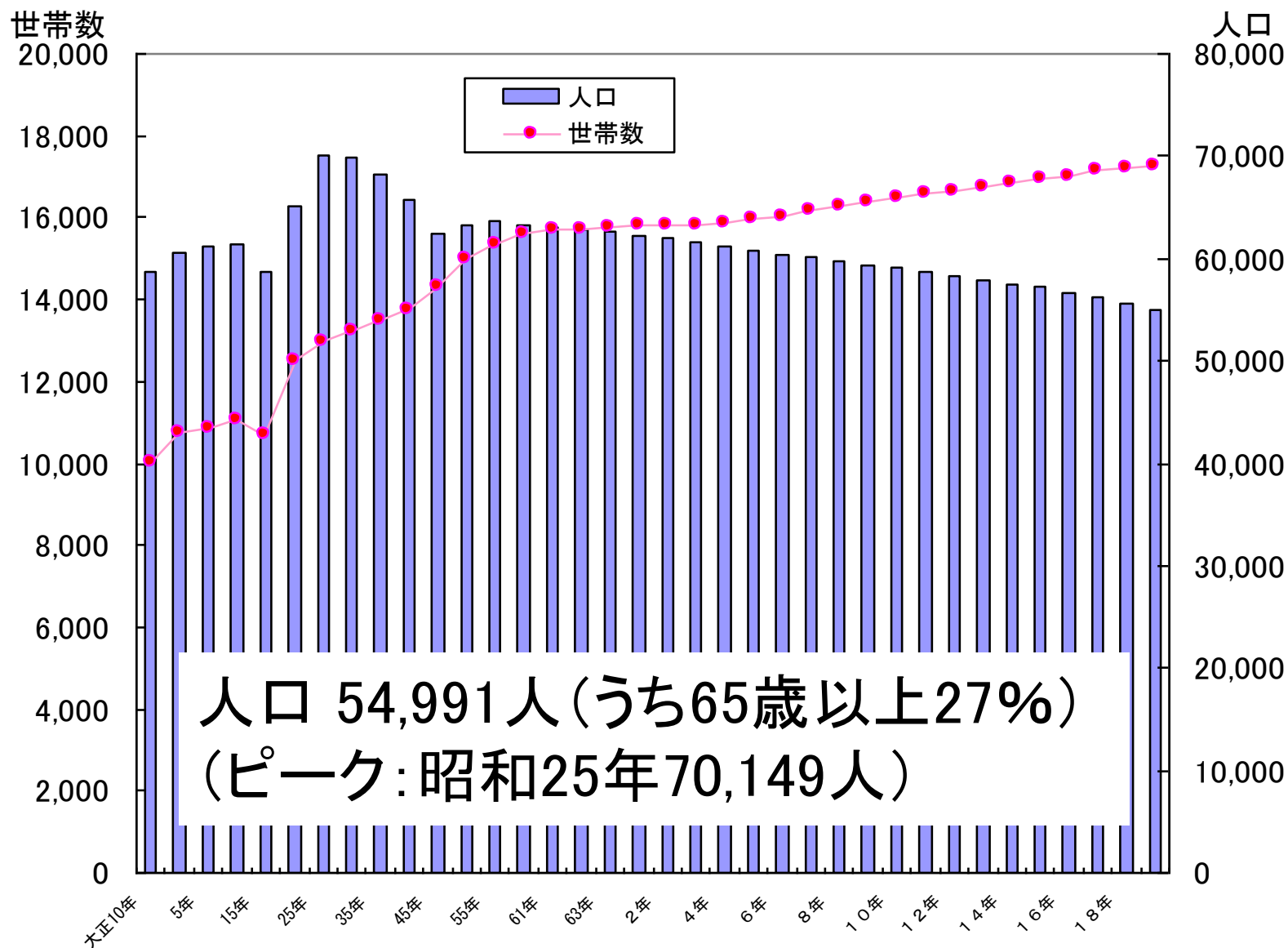


冬こそ食べに行きたい漁師町で日本一にランキング

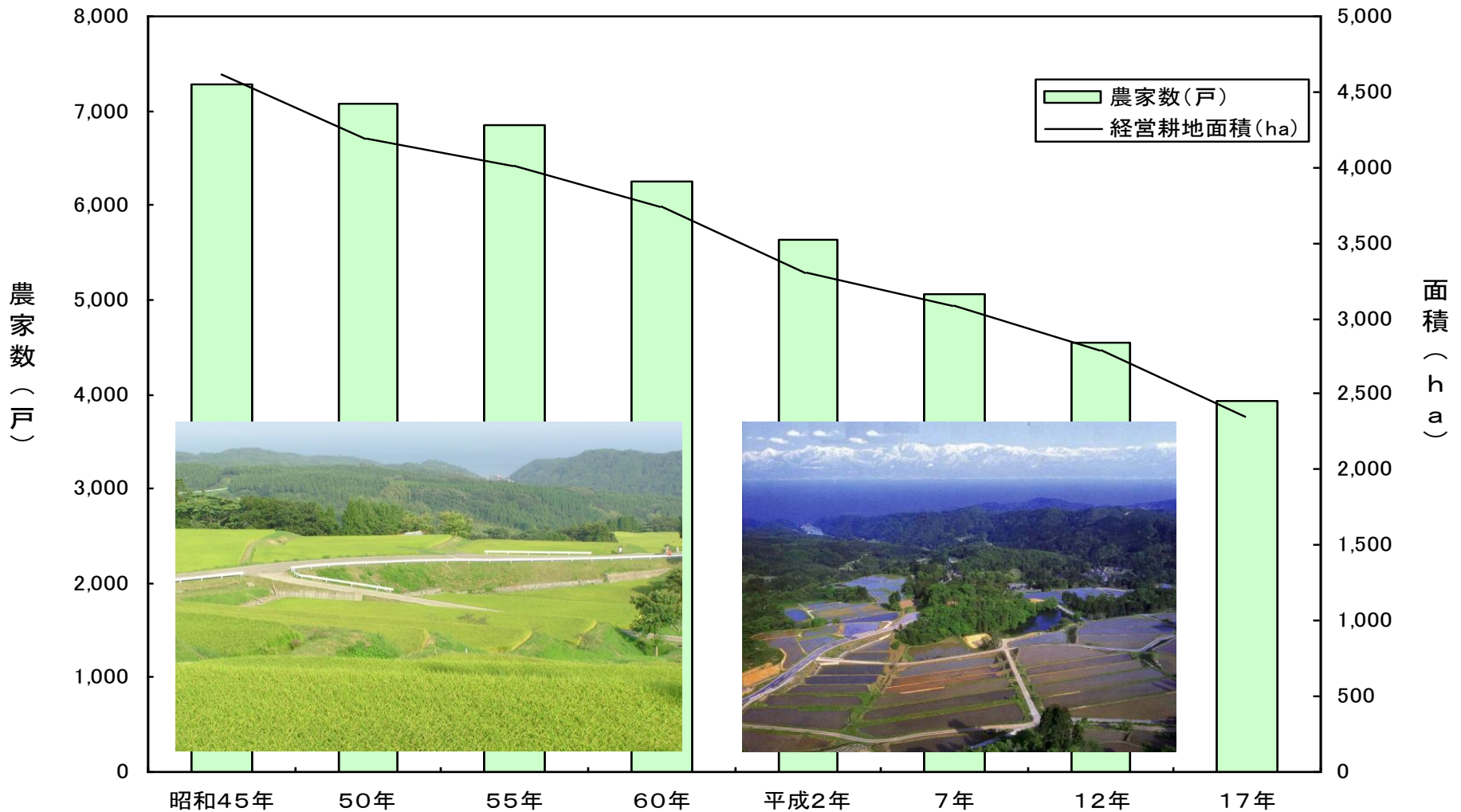
(日本経済新聞 NIKKEI PLUS 1 2009.11.21)



氷見市の概況（人口推移）



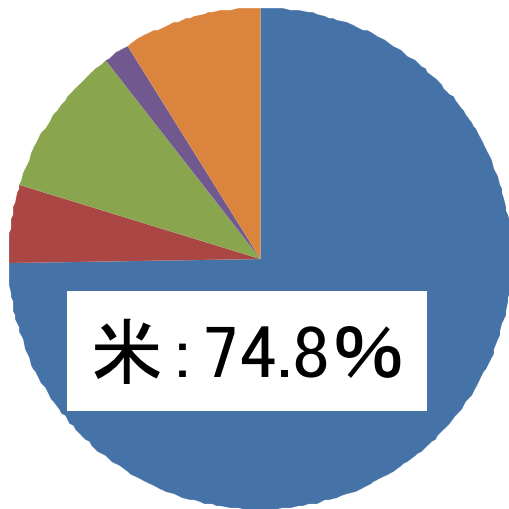
氷見市の概況（農業の推移）



主たる農業取り扱い高

農作物取扱高

1,719百万円

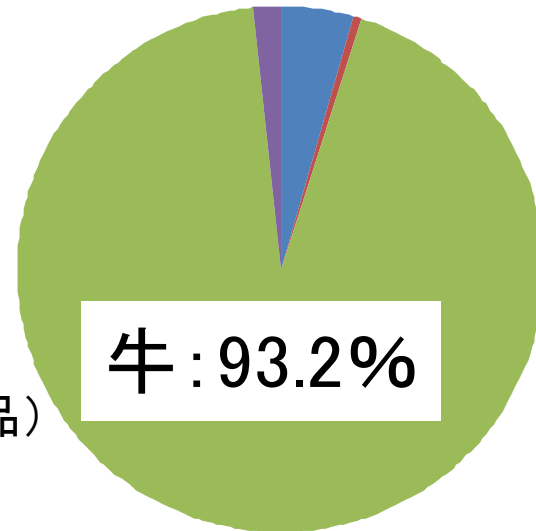


米: 74.8%

- 米
- 豆類・雑穀
- 野菜
- 果実
- 花木類
- その他(直売品)

畜産物取扱高

382百万円



牛: 93.2%

- 生乳
- 豚
- 牛
- 鶏卵

H21年度

JA氷見市グループの概況

【 378人、23支所で1万人の組合員を対象に総合事業を営む】

- ・信用事業(貯金970億円、貸出金96億円)
- ・共済事業
 - 長期: 生命共済1,890億円、建物共済1,700億円
 - 短期: 自動車共済等8億円
- ・購買事業(77億円)
- ・その他事業
 - 販売事業(23億円)、倉庫・施設事業(3億円)、
 - 指導事業、旅行・介護・簡易郵便局等

【関連会社 (JAアグリひみ・JIS・ジェイエイみどり会)】

氷見の農業関連特産物

氷見牛



氷見牛カレー



氷見米



自然薯



氷見の白ねぎ



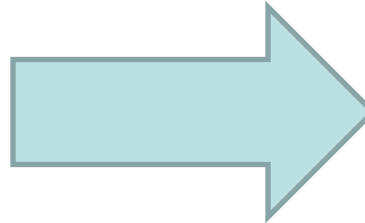
はとむぎ茶



氷見の特産物マップ

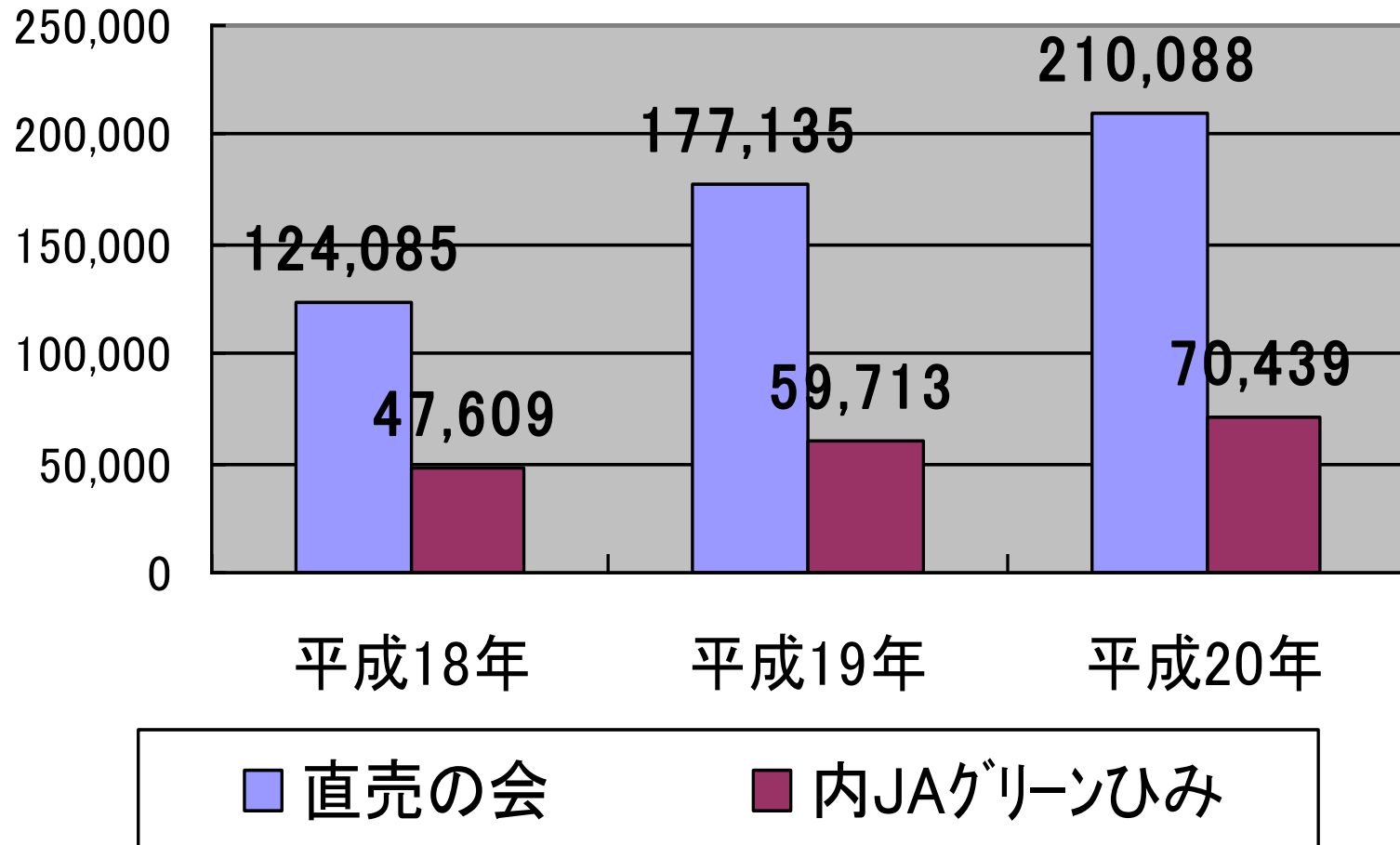


直売所



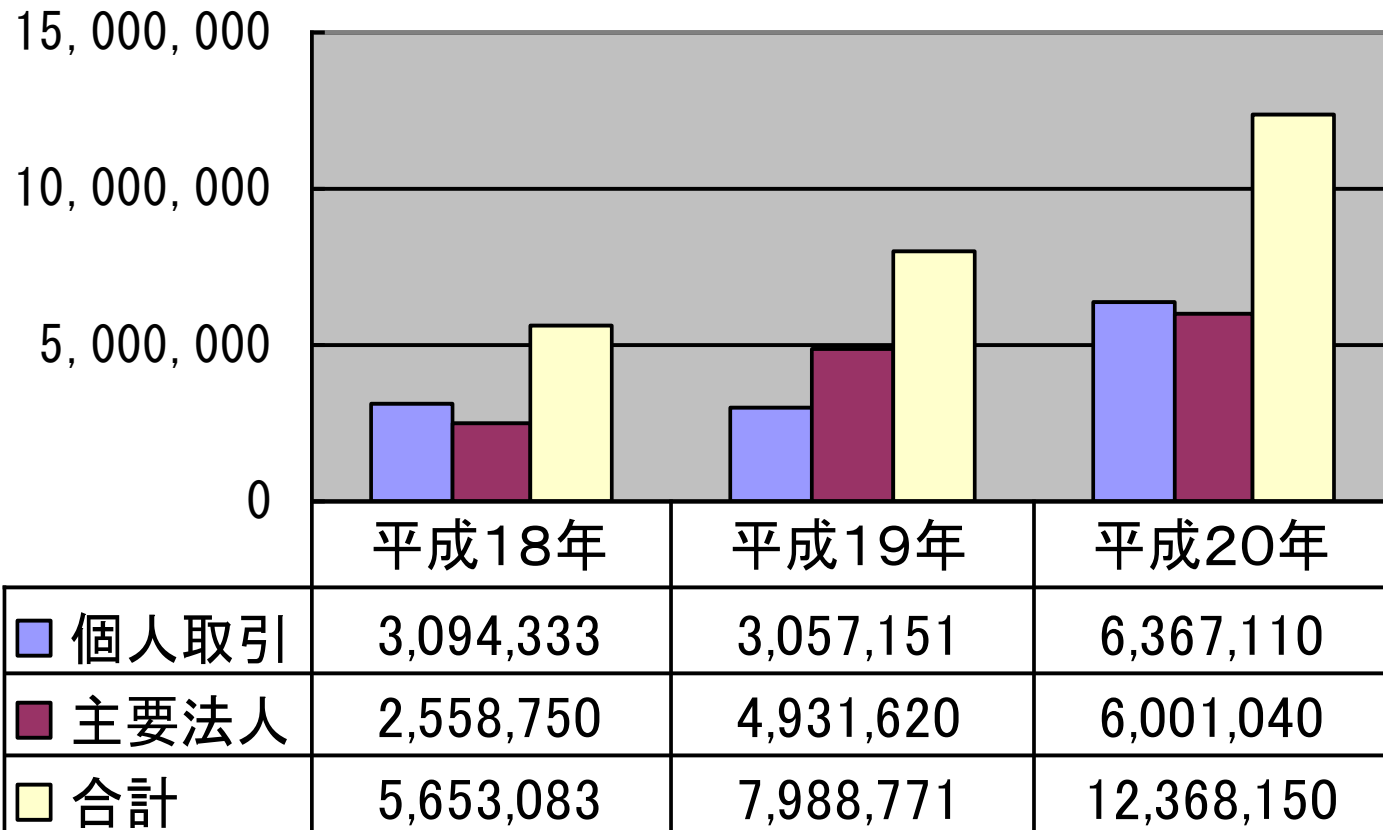
JA氷見市 直売所売上推移表

(単位: 千円)



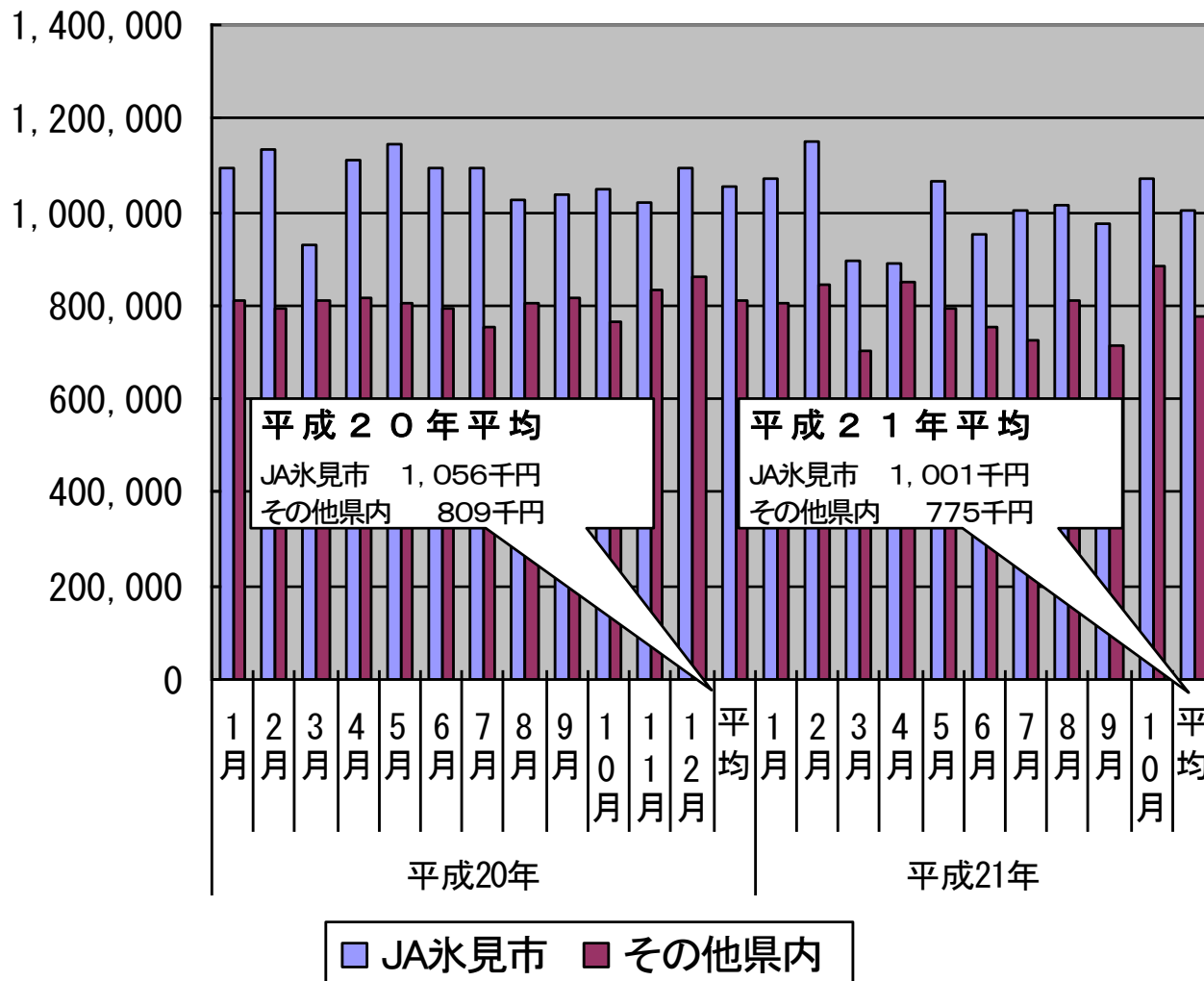
氷見米の県外直接取引の推移表

(単位:円)



富山県内の和牛一頭当たりのせり価格比較

(単位：円)



JA氷見市の基本戦略

1. 事業の拡大均衡
2. 経済事業の重視
3. 農業と地域へ利益の最大還元
4. 財務より収益基盤強化



事業の拡大均衡

農協とかかわる人を増やす

新規事業

- 福祉事業
- JAグリーンひみ
- JAアグリひみ
- 保育園
- 創作工房ひみ



経済事業の重視

既存23支所の存置

購買事業の実績推移

単位：百万円、台数

年 度 (合計)	生産資材	生活資材 (内自動車)	自動車購買台数 車検受入台数
平成20年 (7, 713)	1, 135	6, 578 (1, 915)	1,873台 5,046台
平成21年	1, 144	6, 304 (2, 151)	1,679台 5,310台

農業と地域へ利益の最大還元

オールひみの精神

・担い手支援

(平成18年から175百万円)

・特別配当

(平成20年:肥料高騰対応、67百万円)

・民宿支援

(職員の平日利用券発行、視察受入は民宿等の利用が条件)

・スポーツと観光支援 (寄付:5円/1本のはとむぎ茶販売)

北日本新聞

スポーツ・観光の振興に JAアグリひみ 市へ1000万円寄付



2009年(平成21年)12月26日(土)

氷見市のスポーツや食育、観光の振興に役立ててもらおうと、JA氷見市の農業生産法人「JAアグリひみ」(社長・川上修 JA氷見市組合長)は25日、市に1千万円を寄付した。同社が販売するペットボトル入り「氷見はとむぎ茶」1本につき5円を毎年寄付しており、今年は過去最高の200万本を売り上げた。

川上社長と中田一雄監査役(JA氷見市専務理事)、小坪勝之常務が市役所を訪れ、堂放市長に目録を贈った。市から同社に感謝状が贈呈された。寄付金は、来年3月に氷見市で開かれる春の全国中学生ハンドボール選手権大会とジュニアスポーツの振興、食育・食文化の推進に活用される。川上社長は「氷見三昧など食による観光振興や、食育など幅広く使ってほしい」と話した。JAアグリひみは「氷見はとむぎ茶」を発売した平成18年から毎年、市に寄付しており昨年は750万円(1500万本分)を贈った。

高機能はとむぎ茶来年4月試験販売

JAアグリひみは来年4月、「氷見はとむぎ茶」に高機能ハトムギエキスを加えた飲料「氷見はとむぎ茶ゴールド」(仮称)を15万本試験販売する。美肌効果がある健康飲料として売り出す。25日、氷見市役所を訪れた川上社長が堂放市長に報告した。商品開発は、皮膚の健康保持に効果があるハトムギエキスの抽出技術を持つ金沢大のベンチャー企業、CRD(金沢市)と連携して進めている。従来のはとむぎ茶に、特殊酵素処理法によって抽出した高機能ハトムギエキスを加え、飲料としてのブランドイメージを高める。

ゴールデンウィーク前の4月下旬に市場投入する計画で、川上社長は「女性をターゲットにした高付加価値商品として売り出したい」と話した。

財務より収益基盤の強化

こんな時代こそ投資優先

- ESなくしてCSなし
(業績連動の処遇)
- ブランド化事業の取り組み
(氷見牛、はさがけ米などの特産化)
- 人材育成
(各種資格取得の奨励、大都市での営業経験など)



農商工連携事業への取り組み

1. はとむぎ物語

- ①ペットボトル茶の開発
- ②金沢大学医・薬学部との連携
- ③高機能ハトムギ飲料などの開発



2. 農農連携（JAセレサ川崎、柿里等）

3. 新商品の開発

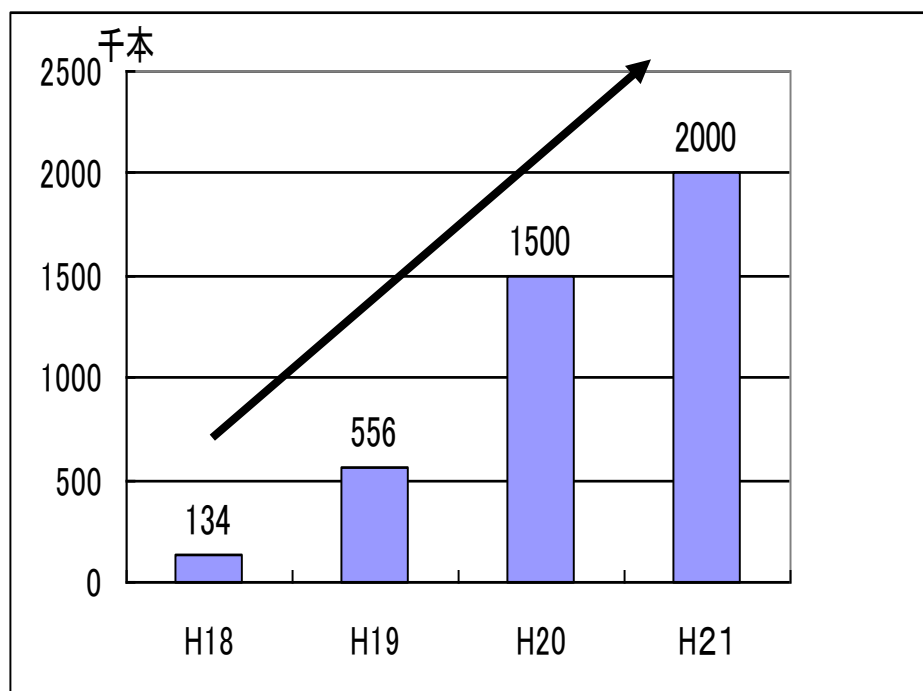
- ①玄米粉パン
- ②ハトムギパウダー使用の各種食品（氷見市内業者が数多く開発）



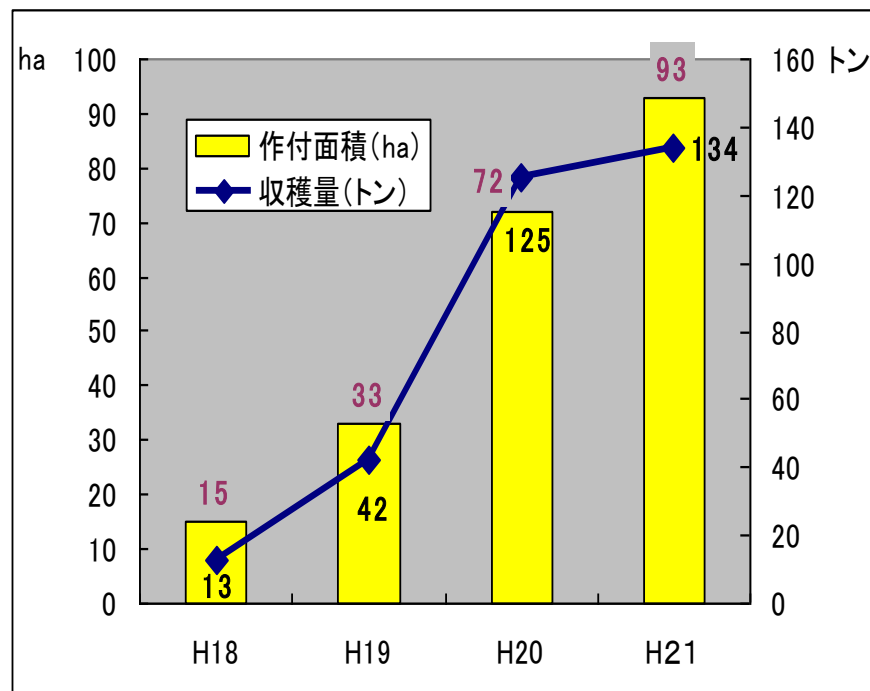
全国レトルカレー部門
でNO.1に！
(H20年:TBS放映)

JA氷見市のハトムギ指標の推移

ペットボトルの販売



作付面積と収穫量



収穫量は平成20年度では全国シェアの11%となった

産学官の連携

JA氷見市グループ

連携体の強みを発揮

高付加価値の追求

安心・安全な原料の供給
販売体制の確立(専門家の招聘)

医学薬学的な評価や
安全性試験
情宣活動など

事業の認定
(支援)
・農工商連携事業
・ブランド化支援事業

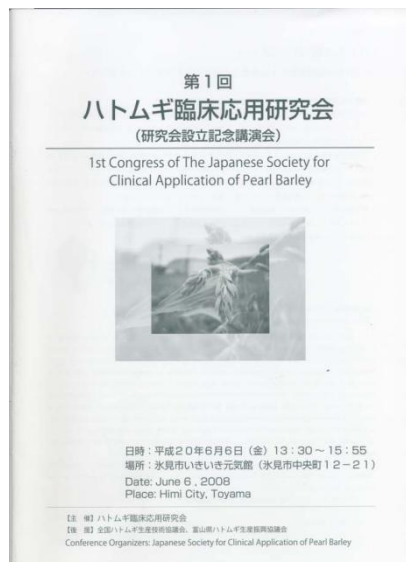
金沢大学グループ

- ・(株)CRD(金沢大学発ベンチャー)
- ・(株)ベルブリッジ(金沢大学発ベンチャー)
- ・NPO 代替医療科学研究センター

経済産業省 農林水産省

ハトムギの研究 (臨床応用と栽培技術)

ハトムギ臨床応用研究会



ハトムギに関する医学、農学、薬学、栄養学等の研究に関する発表、情報交換とその啓蒙活動を組織的に行うことにより、研究者のみならず生産者とのコミュニケーションも活発にし、研究活動の推進、拡大を図るとともに地域農業の活性化を図る (平成20年5月設立)

全国ハトムギ生産技術協議会



国産ハトムギの振興と栽培技術の向上を図るため、生産者や指導機関、研究機関等の関係者が集い、産置換の連携や技術交流等の自主的活動を行う (平成19年11月設立)

富山県ハトムギ生産振興協議会

(平成20年5月設立) 20

ハトムギの研究成果

【北國健康生きがい支援事業】ハトムギ健康フォーラム

【主催】北國新聞社 【協賛】石川県、氷見市、石川県医師会、金沢市医師会、石川県薬剤師会、石川県看護協会、香林会大和 【協力】関サールKサンクス、キリンビバレッジ等 【協賛】JA氷見市、JAいんば



太田 富久氏

**心拍数未
病が分かる**
健康美研究 佐々木 孝
「ハトムギ」は、心拍数を正常に保つ働きがあり、心臓の機能を高める効果があります。また、血圧を下げ、動脈硬化を予防する効果も期待されています。

「ハトムギパワーの可能性」

北國健康生きがい支援事業の「ハトムギ健康フォーラム」伝統の知恵を健康美研究 佐々木 孝氏が5月24日、金沢市の北國新聞ホールで開かれた。たぐや体にいいとされるハトムギに関する最新の研究、機能性食品や薬品として可能性について、専門家が多角的な視点から紹介しました。

説明されてきたハトムギの機能性

**抗腫瘍活性
成分を確認**
鈴木 孝氏
「ハトムギ」は、抗腫瘍活性成分を確認しました。その成分は、がん細胞の増殖を抑制する効果があります。また、免疫機能を高める効果も期待されています。

がん治療に生かしたい▼太田氏 メタボ対策にも理想的▼上馬場氏

今秋、臨床試験に参加▼杉田氏
杉田 直道氏
「ハトムギ」は、メタボリックシンドロームの改善に効果的です。また、がん治療の補助薬としても期待されています。今秋、臨床試験に参加予定です。



上馬場 和夫氏

【要約】

「ハトムギ」は、抗腫瘍活性成分を確認しました。その成分は、がん細胞の増殖を抑制する効果があります。また、免疫機能を高める効果も期待されています。

健康づくりで農業も元気に

食の安全と健康への関心が高まる一方、高齢化が進む農村部では、農業の担い手不足が深刻化しています。健康づくりで農業も元気に、という目標を掲げています。



生産者あいさつ
川上 修氏
(JA氷見市代表理事 会長)

がん予防や美肌に優れた効果

「ハトムギで健康生活」鈴木 信孝氏

**補完代替医療
の活用を**
鈴木 信孝氏
「ハトムギ」は、がん予防や美肌に優れた効果があります。また、補完代替医療としても活用されています。



鈴木 信孝氏

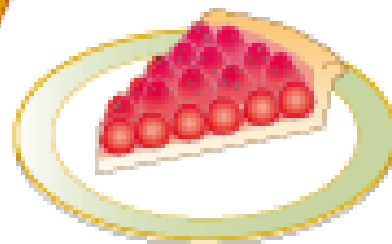
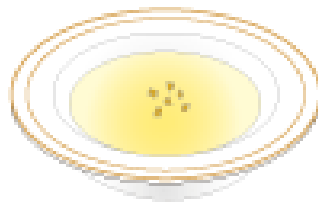
北國健康生きがい支援機構
「ハトムギ」は、健康生きがい支援機構の支援事業です。その効果は、健康美研究 佐々木 孝氏が5月24日、金沢市の北國新聞ホールで開かれた。



杉田 直道氏

**心強い味方
長寿社会の**
「ハトムギ」は、心強い味方です。長寿社会の到来を支援する効果が期待されています。

「ハトムギ」は、抗腫瘍活性成分を確認しました。その成分は、がん細胞の増殖を抑制する効果があります。また、免疫機能を高める効果も期待されています。



氷見市の食品業者はハトムギを使った食品を開発中



地域資源のPRと販路開拓事業

氷見特産品販売サイト「氷見マルシェ」

2009年6月28日 OPEN <http://www.himi-marche.com>

①氷見市事業者の商品取扱いと販売（オール氷見）

- ・農業生産組合の農産物加工品
- ・水産加工会社の水産加工品
干物、ぶりシャブ、珍味、蒲鉾等
- ・氷見牛、その他地元スイーツ

②氷見市外の消費者へのPRと直販と会員登録

- ・通販事業開始（インターネット販売とカタログ販売）
- ・受注のための通話料無料コールセンター開設

③認知度アップと販売促進のためキャンペーン実施

「氷見マルシェ」オープン記念キャンペーン（2009年7月～8月末）

- ・全国からの応募数 約1万通の応募
- ・会員登録数 約1000人

**11月1日から来年1月31まで「秋の収穫祭」と
「冬の味覚フェア」キャンペーンを実施予定**



“地消地産”で循環型発展を目指す



JA氷見市 朝日丘セルフスタンドに設置

農商工連携事業のもう一つの広がり

2010年1月6日（水曜日）北 國 新 聞

ハトムギによる農業振興

ハトムギの

- ・農業共済新設
- ・専用肥料開発

試作品ができた「羽咋はとむぎ茶」のラベル
＝羽咋市のJAはくい



ハトムギの実は古くから漢方薬として知られ、JA氷見市の「はとむぎ茶」は健康志向の中でヒット商品となっている。JAはくいでも、農家の所得向上はもちろん耕作放棄地の解消にもつなげたいと、生産と販売の両面で力を入れていく。

JAはくいの芝田正秀組合長は「PRを先行させていく。農協も作ったものを売るだけでなく、消費を喚起していくことが必要な時代になった」と話している。

転作作物を商品化

JAはくいは今年11月をめどに、県内JAで初めて本格栽培に乗り出すハトムギを使った「羽咋はとむぎ茶」の生産を開始する。4月から、羽咋産ハトムギの初収穫を迎える今年秋までの間は、栽培・加工の「先進地」で交流がある隣のJA氷見市から協力を受けて氷見産「はとむぎ茶」をいち早く扱い、事前の知名度アップに努めていく。

JAはくいでは、農家の所得向上につながる転作作物としてハトムギに着目。子会社のJAアグリはくいが羽咋市と宝達志水町の転作田2ヘクタールで栽培する。準備を進める中、販売ルート確保のためにも氷見産を借り、4月から「羽咋はとむぎ茶」として先行販売する。

最初はラベルに「羽咋」を冠しても、中身は氷見産ハトムギとなる。このため、原産地偽装とならないよう原材料が氷見市産ハトムギであることを明記し、「JA氷見市業務提携商品」とも記すことになった。

JAはくい

氷見の力借りて
「羽咋はとむぎ茶」

はとむぎ茶、全国各地の特産化加速（小矢部市、石川県羽咋市など）

- ・新たに製造する各地のリスクは極めて低い（味、在庫、収益性など）
- ・JA氷見市がハトムギの周辺整備（高機能の証明、販売実績、認知度アップなど）